



— その先にある、非日常。 — 山に、登ろう。

8月11日は「山の日」、26日は「火山防災の日」と、8月は山に関連する暦が続きます。浅間山の登山口を有し、毎年多くの登山客で賑わう小諸市。浅間山域の大自然を身近に味わえるのが、大きな魅力の一つです。今回、小諸市営火山館の館長である小林正人さんから、山の魅力と登山する上での注意点など、お話を伺いました。



1 かもしか平から望む槍ヶ鞘。**2** 外輪山からの眺めは小林館長もイチ押ししの絶景です。**3** 火山館は登山客の憩いの場です。**4** 槍ヶ鞘から望む浅間山。**5** 浅間山開きは多くの登山客で賑わいます。**6** 登山道ではカモシカに会える日も多いです。



ご存じですか？ [8/26]火山防災の日

明治44年8月26日、日本で最初の火山観測所「浅間火山観測所」が、ここ小諸市に設置されました。当時としては最新の機材を備えた施設で、日本初の本格的な火山研究と火山防災が始まった場所です。観測所は噴火による消失で現存していませんが、防災意識の向上等を目指して、8月26日は「火山防災の日」に定められています。

▲浅間火山観測所(湯の平)の概観(当時)

小林館長の教える登山の装備
無理に登山靴である必要はありません。底が厚めの履きなれ

小林館長のイチ押しコース
外輪山(トミーの頭)〜Jバンド(トミーの頭)〜浅間山は素晴らしいのひと言です。火山館経由の登山も面白いですが、黒斑山の方から登り始めると、標高差が少なく、体力に自信がない方にもおススメです。小・中学校以来、登山をしたことがない方も多いかもしれません。しかしこの浅間高峰山域は、小諸市街から時間をかけずに来られる「非日常を存分に味わえる場所」なので、この夏はぜひ遊びにお越しください。

起こるか分かりません。小林館長から実際に起こったトラブルや注意点などを伺いました。「浅間山の噴火警戒レベルは現在(7月15日現在)で、賽の河原までは登ることができません。しかし、登山禁止区域に勝手に入ってしまう方も、残念ながらいらつ

た運動靴で大丈夫です。登山を楽しく感じられたら、装備を整えていく感じで良いと思います。また夏でも気温低下や夕立に対応できるよう、防寒対策・雨具をお忘れなく。

小林館長が山に登るようになったのは、スノーボードでバックカントリーを始めたのがきっかけとのことで、昔は乗鞍岳や草津の方もよく登っていたと言います。そのような中「浅間高峰は冬を除き、ほぼ毎週末登っていました」という小林館長。毎週登るほどの魅力がある浅間高峰山域。その見どころは何なのでしょう。小林館長は続け

「楽しいからこそ気をつけたい「山」」
近年、無謀な登山客や遭難して山岳救助を要請するといったニュースをよく耳にします。この浅間高峰山域で大きなトラブルは発生していませんが、大自然が相手である以上、いつ何が



小諸市営 火山館 館長 小林 正人 さん



【小諸市営 火山館】
休憩所・避難シェルター・資料展示室などを備えた、浅間山登山道中の施設です。

体力・装備に合った登山を楽しみましょう

事前に山域や天候を必ず調べ、体力や時間に合ったコースで登山することが何より大切です。また山の天候は急変しやすく、時に危険を伴います。雨風を防ぐ対策は特に怠ることなく、「自分の身は自分で守る」意識を持ち、登山を楽しみましょう。

登山計画書を提出しましょう

事前に登山計画書を作成することで、山の特性を知り、安全で楽しい登山につながります。また、万が一遭難した際の迅速な救助活動にもつながります。オンラインによる届出も可能です

噴火警戒レベルを確認しましょう

楽しいからこそ気をつけたい「山」

浅間・高峰の山々は美しい景観を楽しめますが、浅間山は日本有数の活火山であることも、忘れてはなりません。市公式LINEなどから、最新の情報を入手しましょう。登録はコチラ▶



登山する時に気をつけたいこと

浅間山域は気軽に登山を楽しめる環境にあり、大自然に触れられる機会も多いです。しかし準備や情報確認を怠ると、命の危険を伴うこともあります。左記にて登山する時の注意点を紹介しますので、ご参照ください。